

平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(藤沢中学校)

平均正答率

○平均正答率の公表例

- ・平均正答率を数値で表示
- ・平均正答率をグラフで表示
- ・県を100とした場合の各校の平均正答率の割合を数値で表示
- ・県を100とした場合の各校の平均正答率の割合をグラフで表示

生徒質問紙調査の結果

- 「規律ある態度の」の達成項目に関して、1年生では「話を聞き発表する」以外は80%を超えている
- 「学校の授業の予習・復習をしている」は全学年県平均を上回っている。
- 「勉強を始めるとき、最初に計画を立ててから始める」生徒は全学年、県よりも低い。
- 自尊感情に関する項目で「自分には良いところがある」では、1年生では80%を超えているが、2、3年生では県平均を下回り、65%以下である。

藤沢中のよかった点○と課題●

- 古文・漢文に対して、正答率も古文・漢文ともに県の平均を上回る問題が多かった。
- 英語の問題では、無解答率0.0%が多く、解答しようという意識が見える。
- 「学校の授業の予習・復習をしている」は全学年県平均を上回っている。
- 漢字や語句の意味を答える問題の正答率が全国平均を下回った。
- 教科等の領域「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」では、どの学年においても、県の平均を下回る結果となった。特に「図形」の領域は県の平均との差が大きい。
- 英語では、並び替え問題が苦手や文章を読み問題を解くことが苦手。
- 「勉強を始めるとき、最初に計画を立ててから始める」生徒は全学年、県よりも低い。

課題への取組・改善策

- 国語では、漢字の定着ができておらず、また語彙力不足が見られます。小テストなどを実施しながら、間違いを繰り返し学習して改善し、さらに学習習慣を身につけ、語彙力の向上をさせます。
- 数学では、基本的な技能の定着が不十分な生徒も多く見られます。意図的に技能を復習させ、学んだことを復習できるプリントや問題を活用し、確実な定着を図ります。
- 英語では並び替え問題が苦手なため、語順を理解させる文章を読み問題を解くことが苦手なため、単語の意味を理解させます。小テストを行い、理解度を深めた上で、「語順トレーニング」を行うことで語順を理解させていきます。
- 生活の中で具体的な活用場面を授業で捉え、学習の必要感や意欲の向上につなげ、基礎学力の定着につなげる個々の生徒の力に合わせた学習プリント等を積極的に提供します。